

平成24年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 40

千葉県立市川東高等学校全日制の課程普通科

1 期待する生徒像

本校への志望の動機及び理由が明白で、本校への適性を有し、他の生徒により影響を与える活力ある生徒で、次のア及びイの要件を具備する者

ア 人物が優れていること。

イ 学習成績が優秀で、特別活動・部活動等、中学校生活全般にわたり積極的に取り組んでいること。

2 選抜資料

(1) 学 力 検 査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調 査 書	各評価項目の評価を基にして数値で評価する。
(3) 面 接	集団面接、面接委員3名、1グループ当たりの面接時間約15分、3の(3)ア～ウを、それぞれ5点・3点・1点の3段階で評価する。
(4) 志 願 理 由 書	記載事項について、人物を総合的に見る際の資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評 価 項 目	評 価 基 準
5 教 科 の 得 点 合 計	5教科の得点の合計により評価する。なお、得点が30点未満の教科を有する場合は審議の対象とする。

(2) 調査書

評 価 項 目	評 価 基 準
ア 教科の学習の記録	a 調査書中の評定について算式1で求めた数値を評価する。 b 1年、2年、3年の必修教科の評定に1がある場合、審議の対象とする。
イ 総合的な学習の時間の記録	以下について記載があればそれぞれカッコ内の点数を加算する。 (a) 3年間皆勤の生徒（6点） (b) 3年間部活動に所属し、活動した生徒（4点） (c) 生徒会役員をした生徒（4点） (d) 以下の資格を有する生徒（各2点） ・日本漢字能力検定3級以上 ・英語検定3級以上 ・数学検定3級以上
ウ 出欠の記録	
エ 特別活動の記録	
オ 部活動等の記録	
カ 総合所見	

(3) 面接

ア～ウの評価項目について、5点・3点・1点の3段階で評価し、人物を総合的に見る際の資料とする。

評 価 項 目	評 価 基 準
ア 態 度	身だしなみ、対応態度が適切かなどを5点・3点・1点の3段階で評価する。
イ 意 欲	学習活動、特別活動等に目的意識を持って積極的に取り組もうとしているかなどを5点・3点・1点の3段階で評価する。
ウ 表 現 力	質問内容を理解し、自己の考えを的確に表現しているかなどを5点・3点・1点の3段階で評価する。

なお、特に問題となる点がある者は審議の対象とする。

#### (4) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由	本校を志願する理由と、人物を評価する。

### 4 選抜方法

#### (1) 選抜の手順

次のア、イの条件を具備し、かつウの a, b, c のいずれにも該当しない者をA組とし、この者は内定者とする。

- ア 算式1で求めた数値に、調査書中の評価項目による点数を加えた数値によって順位をつけたとき、予定人員の80%以内にあること。
- イ 学力検査の5教科の得点の合計に、面接における評価点を加えた数値によって順位をつけたとき、予定人員の80%以内にあること。
- ウ
  - a 学力検査において得点が30点未満の教科を有する者。
  - b 調査書の記載内容に、問題となる点がある者。
  - c 面接の結果に特に問題となる点がある者。

#### (2) 総合的に判定して選抜する方法

A組に属さない者をB組とし、この者については、次の算式によって求めた数値で順位づけをし、下記のアからカまでを資料として総合的に判定する。

算式  $A + B + Z$

算式の符号

- A：調査書の評価項目による点数
- B：学力検査の得点と面接評価点の合計値
- Z：算式1で求めた数値

- ア 調査書中の「必修教科の評定」
- イ 学力検査の成績
- ウ 調査書中の「選択教科の評定」, 「総合的な学習の時間の記録」, 「出欠の記録」, 「行動の記録」, 「特別活動の記録」, 「部活動等の記録」, 「総合所見」等
- エ 面接の結果
- オ 志願理由書の記載内容
- カ 自己申告書の記載内容

#### (3) その他

入学許可候補者内定者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の範囲内であることを確認する。